

1歳未満の乳児に、はちみつを与えないでください

～乳児ボツリヌス症の予防～

東京都内ではちみつの摂取が原因と思われる乳児ボツリヌス症の死亡事例がありました。赤ちゃんを守るため、1歳未満のお子さんに、はちみつを与えないでください。

乳児ボツリヌス症とは？

1歳未満の乳児がボツリヌス菌の芽胞に汚染された食品を食べると、ボツリヌス菌の芽胞が乳児の腸内で発芽・増殖し、その際に産生される毒素により発症する病気です。

症状

初期は便秘が続き、進行すると筋力の低下・補乳力の低下・泣き声が小さくなる等の筋肉が弛緩することによる症状が見られます。

予防方法

主な原因食品は「はちみつ」です。

ボツリヌス菌は熱に強く、加熱しても死滅しませんので、はちみつを含む飲料や菓子等も含め、「はちみつ」を1歳未満のお子さんに与えないようにしましょう。

なお、1歳以上の方がはちみつを摂取しても、乳児ボツリヌス症の発症はありません。

乳児ボツリヌス症に関する詳しい情報は以下のページをご覧ください。

- ・東京都福祉保健局 食中毒の発生について 報道発表

<http://www.metro.tokyo.jp/tosei/hodohappyo/press/2017/04/10/02.html>



- ・厚生労働省 「ハチミツを与えるのは1歳を過ぎてから」

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161461.html>



お問い合わせ先

草加市保健センター

電話 922-0200

FAX 922-1516